

努力する人は
希望を語り

なま
怠ける人は
不満を語る

小説家 井上 靖

井上 靖さんの代表作「天平のいらか薑」は、20年の年月をかけて異国の地、唐の国から高僧「鑑真がんじん」を奈良の都へ招き、仏教を広めるべく努力した僧たちのお話です。

日本にも仏教を根付かせたい想いで努力し続けた僧たち、そして盲目になっても仏教を伝えねばと苦難の道をあえて選んだ鑑真和上。

現在、仏教が身近にあるのは 1,300 年ほど前、僧たちの日本仏教への希望を語り合う姿があったから
違いありません。

日本仏教の確立に奔走した人々を思い、お盆参りをしてみてはどうでしょう！



栗山町 教覚寺 萩山玲子